

平成23年度 教育委員会の重点目標達成状況報告書

＜総括説明＞

7項目の重点目標を定め、教育委員会一体となり目標達成に向け努めてきた結果、一部達成も含めて6項目について達成することができた。目標が達成できなかった項目についても、一定の効果は実現できていると考えているが、次年度以降は、学校の実態にあった弾力的な運用を図るなど、より一層実効ある取組を行っていききたい。

この達成状況を踏まえつつ、今後も引き続き、長崎県教育方針及び長崎県教育振興基本計画に則り、市町教育委員会や関係機関等との連携・協力のもと、自らの人生と郷土や国家の未来を切り拓き、変化の激しい国際社会で活躍できる人材を育成するための各種施策に取り組んでいく。

番号	項目	具体的な目標（達成水準）
1	信頼される学校づくりの推進	不祥事防止対策の推進 ・ 服務規律月間において、自主的な取組を行った学校の割合 100.0% ・ 服務規律委員会に外部の意見を取り入れている学校の割合 100.0% 県内公立小・中学校における学校関係者評価（外部評価）の実施率95.0%
	達成状況の区分： 達成した ＜達成状況＞ 不祥事防止対策の推進 ・ 服務規律月間において、自主的な取組を行った学校の割合 100% ・ 服務規律委員会に外部の意見を取り入れている学校の割合 100% 県内公立小・中学校における学校関係者評価（外部評価）の実施率 96.4%	＜今後の課題＞ 不祥事対策の推進については、今後も引き続き取り組んでいく。 学校関係者評価について ・ 未実施校における取組の改善が図られるよう関係市町教育委員会に働きかけ、実施率100%を目指す。 ・ 評価結果を学校運営の改善に生かす取組の充実を図っていくことも課題である。
2	学力向上対策の推進	公立小・中学校の ・ 「基礎・基本チャレンジ」の活用率 90.0% ・ 「活用に関する教材事例」の活用率 75.0%
	達成状況の区分： 達成した ＜達成状況＞ 基礎・基本チャレンジ：98.0% 活用に関する教材事例：90.9%	＜今後の課題＞ ・ 「基礎・基本チャレンジ」は、本県児童生徒の学力定着状況の検証軸となるよう参加率100%を目指す。 ・ 「活用教材」についても、提供する教材の一層の充実を図り、各校における有効活用を促進する。

番号	項目	具体的な目標（達成水準）
2	職業教育の推進	新規公立高等学校卒業者の県内就職率（県内就職希望者に対する県内就職者の割合）が、総合計画における最終目標値（93%）を上回る
	達成状況の区分： 達成した	<今後の課題>
	<達成状況> 新規公立高等学校卒業者の平成24年3月末現在の県内就職率 96.8%	・就職支援対策を強化し、郷土を担う高校生の就職活動を引き続き支援していく。
	国際化に対応した教育の推進	「ジュニア・イングリッシュ・チャレンジ」への参加率 公立小学校 70.0% 公立中学校 80.0%
	達成状況の区分： 達成できなかった	<今後の課題>
	<達成状況> 小規模校における監督者や教室等の確保の難しさ、平成23年度からチャレンジする問題を児童生徒の選択制にしたことによる事務量の増大などにより、参加率が伸びなかった。 参加率（実数） ・小学校...63.9% ・中学校...59.3%	参加率の向上をはかるため、 ・参加形態の弾力化 ・チャレンジ問題選択の弾力化 ・教員の業務軽減 ・調査書及び指導要録等への記載の奨励 などを実施予定
特別支援教育の推進	県内公立幼・小・中・高等学校における「個別の教育支援計画」の作成率 65.0%	
達成状況の区分： 達成した	<今後の課題>	
<達成状況> 平成23年度特別支援教育体制整備状況調査（H23.9.1現在） 県内公立幼・小・中・高等学校における個別の教育支援計画作成状況 ・幼稚園の作成率 75.0% ・小学校の作成率 71.4% ・中学校の作成率 58.8% ・高等学校の作成率 36.2% ・全体の作成率 65.1%	・幼稚園等から小学校への円滑な就学や、小学校から中学校、中学校から高等学校への継続した指導・支援の充実を図るため、個別の教育支援計画の作成・活用を通して、学校間の適切な引継ぎや連携を推進する。 ・高等学校における特別支援教育を推進するため、個別の教育支援計画を作成・活用した校内支援体制の構築を図る。	

番号	項目	具体的な目標（達成水準）
	子どもの読書活動の推進	公立小・中・高等学校の児童生徒の1か月の読書量 小学生 11.7冊 中学生 5.8冊 高校生 3.8冊
	達成状況の区分： 一部達成した <達成状況> 1か月の読書量 小学生 11.8冊 中学生 5.9冊 高校生 2.9冊 高校においては読書活動を推進するためのさまざまな取組が行われたが、読書量としては目標値を達成できなかった。	<今後の課題> ・小学生、中学生は目標を達成したが、高校生は達成できなかった。高校生の読書活動がより活性化するような働きかけを検討する。
	豊かな心と志をもってたくましく生きる力の育成	夢やあこがれを実現するために努力している中学生の割合 60.0%
3	達成状況の区分： 達成できなかった <達成状況> 58.7%（平成24年2月調査） 各中学校での実践化を促すための地区別教員研修会未実施の地域の学校に対し、取組の趣旨や内容、成果等についての周知がまだ十分ではないため、目標が達成できなかった。	<今後の課題> ・事前の実態調査では48.6%であり、事業効果は表れているが目標に僅かに及ばなかったことから、本目標に対する全県的な認識を高め、各校における取組の一層の推進を図る。
	学校体育・スポーツの推進	全国体力・運動能力・運動習慣等調査において、児童生徒が「体育の授業で運動やスポーツが今までよりもできるようになった」と回答する割合 91.0%
	達成状況の区分： 達成できなかった <達成状況> 全国体力・運動能力・運動習慣等調査における回答 89.1% 子どもの体力向上が盛り込まれた学習指導要領の改訂が、中学校では小学校より1年遅れの平成24年度からの実施となっており、改訂の趣旨の浸透・定着が遅れているため、中学校において目標が達成できなかったことが考えられる。	<今後の課題> 小学校においては上回っていたが中学校において目標が未達成であった。中学校は平成24年度より新学習指導要領による授業が実施され、授業の充実が今後の目標達成の鍵である。

【様式2】

番号	項目	具体的な目標（達成水準）
4	安全・安心で快適な学校づくりの推進	県立学校の耐震化率 97.0%
	達成状況の区分： 達成した <達成状況> 36棟の耐震補強工事が完成 また、老朽化した施設の改築、解体等により、県立学校施設の耐震化率は97.1%となり、目標を達成した。	<今後の課題> ・平成24年度末の耐震化完了を目指す。
5	学校・家庭・地域の連携による子どもの育成	「学校支援会議」等により学校・家庭・地域が協働して地域の教育力向上につながる取組が行われている小・中学校区の割合 100.0%
	達成状況の区分： 達成した <達成状況> 県内100%の学校区に「学校支援会議」等が設置され、地域の教育力の向上につながる取組が行われた。	<今後の課題> 「学校支援会議」等は、100%の学校区に設置されたが、今後、学校、家庭、地域の更なる連携が図られるよう内容の充実を図る。
6	生涯学習環境の整備	ながさき県民大学の講座受講者数 525,000人
	達成状況の区分： 達成した <達成状況> 講座受講者数 525,605人	<今後の課題> ・平成23年度「ながさき県民大学」登録講座数は2,462講座で前年比+33であるが、民間教育事業者による講座数だけを見れば大幅に減少している。今後、県や市町で実施している生涯学習講座（イベント）との連携を推進していく。
7	文化芸術活動の推進	「2013長崎しおかぜ総文祭」に向けた高校生の文化活動に参加した県民及び高校生の数 16,000人
	達成状況の区分： 達成した <達成状況> ・県高等学校総合文化祭 ・各部門大会 ・サマーフェスタ ・500日前イベント 計 26,874人	<今後の課題> 今後も広く県民の皆様に応援していただくため、広報イベント等をとおして、積極的に周知していく。

【様式2】

番号	項目	具体的な目標（達成水準）
	競技力向上対策の推進	国体の天皇杯順位（総合順位） 20位台
7	達成状況の区分： 達成した <達成状況> ・平成23年山口国体では、団体・個人合わせて19競技73種目で入賞を果たし、総合順位では15位という好成績を収めることができた。	<今後の課題> 平成26年長崎がんばらんば国体に向け、第2次長崎県競技力向上総合計画に基づき、下記の項目について重点的な取組を進める。 ・指導者の養成と適正配置 ・優秀選手の確保と強化 ・選手強化事業の充実 ・スポーツ医・科学支援体制の強化